

平成24年行政事業レビューシート（環境省）

事業名	海水腐食評価	担当部局庁	原子力規制委員会発足まで：経済産業省 原子力安全・保安院原子力発電検査課 原子力規制委員会発足以降：原子力規制委員会	作成責任者	
事業開始・終了(予定)年度	平成24年度・平成26年度	担当課室		課長 大村 哲臣	
会計区分	エネルギー対策特別会計 電源開発促進勘定	施策名	5 生命・身体の安全 (ただし、原子力規制委員会設置前の施策名)		
根拠法令 (具体的な条項も記載)	・法律：特別会計に関する法律第85条第4項 ・政令：特別会計に関する法律施行令第51条第1項第31号	関係する計画、通知等	○総合科学技術会議の分野別推進戦略 Vエネルギー分野10③-5 原子力安全研究 ○エネルギー基本計画（平成19年3月閣議決定） 第2章第3節2. 原子力の安全の確保と安心の醸成		
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	東京電力福島第一原子力発電所の1号炉～4号炉において、東北地方太平洋沖地震の震災およびその後の燃料冷却対策等で海水が注入された原子炉格納容器及び使用済み燃料プールの長期に亘る核燃料冷却への供用を想定し、海水腐食に対する健全性の評価を行い、廃炉に向けての機器・設備の審査支援に対応する。				
事業の概要 (5行程度以内。別添可)	本事業は、長期的な冷却期間中の安全確保の前提として海水含有環境等での腐食量の評価を行うとともに、その評価技術を検証するため、海水に晒された原子炉循環注水冷却系、原子炉格納容器等並びに使用済み燃料プールの燃料ラック、循環冷却装置の配管及びプールのライニング部分の腐食量の評価方法を確立するために、以下について実施する。 ①原子炉格納容器及び炭素鋼配管の腐食試験の実施と評価方法の検討 ②ステンレス鋼の腐食試験の実施と評価方法の検討 ③アルミニウム合金材の腐食試験の実施と評価方法の検討 ※原子力規制委員会の発足後、経済産業省から原子力規制委員会に業務が移管される予定。				
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input checked="" type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他				

予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求
		当初予算	-	-	-	150
	補正予算	-	-	-	-	-
	繰越し等	-	-	-	-	-
	計	-	-	-	150	-
	執行額	-	-	-	-	-
	執行率(%)					

成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標	単位	21年度	22年度	23年度	目標値 (26年度)
			事業者が実施する海水による腐食評価や対策等について、判断するための評価手法	成果実績	件	-
		達成度	%	-	-	-

活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標	単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込
			事業成果報告書等の発行件数	活動実績 (当初見込み)		-
			-	(-)	(-)	(1)

単位当たりコスト	- (円/)	算出根拠	-
----------	---------	------	---

平成24・25年度予算 内訳	費目	24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由
	海水腐食評価	150	100	
	計	150百万円	100百万円	

事業所管部局による点検			
	評価	項目	評価に関する説明
目的 状況・予算の	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	安全研究計画に位置づけられた事業であり、機構内に設置された安全研究評価委員会(第三者委員会)で確認されている。
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。	
	○	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、 使途・ 費目・	-	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	全ての契約は競争性のある契約で実施が予定されている。
	-	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	-	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	-	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、 成果実績	-	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	平成24年度計画について、機構内に設置された安全研究評価委員会(第三者委員会)で評価されている。
	-	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	-	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	○	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。 ※類似事業名とその所管部局・府省名	
	-	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	事業の実施に当たっては、事業者が適宜、原子力安全・保安院に計画・進捗状況を確認しつつ事業を進めており、計画的かつ効率的に事業を実施されることが見込まれる。		
予算監視・効率化チームの所見			
		競争性を確保しつつ、より効果的な事業となるように事業を実施すること。また、アウトカム指標の目標件数の根拠等を明確化すべき。	
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
		効率的な事業の実施を図る。また、レビューシートの記事をわかりやすく修正した。	
補記 (過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			
関連する過去のレビューシートの事業番号			
平成22年行政事業レビュー-		平成23年行政事業レビュー-	